

関西大学中興の祖 山岡順太郎の洋行絵はがき

熊 博 毅

関西大学年史資料展示室では、2009（平成21）年度に「学の実化」の時代―山岡順太郎・倭父子展―という企画展を開催した。^{〔1〕}山岡順太郎と倭（以下、敬称略）の肖像写真をはじめ、順太郎の自筆色紙や日記、順太郎から倭宛の書簡、さらには1913（大正2）年7月から11月にかけて順太郎が欧米視察に出かけた際、現地から家族に宛てて送った数々の絵はがき（以下、洋行絵はがき）と、それを収めたアルバムなどを、順太郎の孫である山岡康氏（2011（平成23）年12月17日逝去）から拝借し、展示させていただいた。



山岡順太郎

山岡家に残されている資料のうち、洋行絵はがきは全部で86枚にのぼり、それが一冊のアルバムにまとめられ、さらに倭が表書きをした桐箱に収納されている。順太郎は1928（昭和3）年11月26日に没するので、その1年4ヵ月後の1930（昭和5）年3月に倭が絵はがきをまとめ、上蓋にその経緯を記したことが読み取れる。

繪端書

先人順太郎大正二年春視察
歐米諸國其足跡大廣而彼人
情風之異時々通信亦頗多矣
今集其端書以記當年仍題其
匣

昭和五年三月

山岡倭識

（印）



山岡倭が箱書きをした洋行絵はがきを収める桐箱

現代と違い、海外へは簡単に行くことができなかつた時代、外国旅行は一部の人間に許された特別なことであつた。それだけに、外国行きは本人だけでなく、周囲の人間にとつても特別な意味をもつていた。「外遊」や「洋行」といった、少し気張つた表現がなされる人生の一大イベントだったのである。そうした状況のなかで残された絵はがきをもとに、山岡順太郎の人となり、さらには家庭人としての姿を窺つてみたい。

山岡順太郎と関西大学

本論に入る前に順太郎と関西大学との関係を簡単に振り返つておく。²⁾

順太郎が本学とつながりを持つようになったのは、1920(大正9)年9月25日、本学の協議員になつてからである。ときあたかも本学は、その2年前に施行された大学令に基づき、大学昇格に向けて懸命の努力を続けている最中であつた。

すでに1905(明治38)年から「関西大学」の名称は使用していたものの、実態は専門学校令による学校であつた本学にとつて、大学昇格は今後の存続を左右する重要な課題であり、関係者一同にとつては悲願とも言える最優先事項であつた。しかし、昇格を果たすためには、資金確保をはじめとして、問題が山積しており、その難局面を乗り切るため本学は、日本電力社長や大阪商船副社長、大阪鉄工所(のちの日立造船)取締役会長その他の要職を兼ね、かつ、大阪商業会議所の会頭を務める大阪財界の重鎮、山岡順太郎を総理事に迎えたのである。

順太郎をリーダーに、ときの大学首脳陣が努力を重ねた結果、1922(大正11)年6月5日、念願の大学昇格が実現した。そして吹田・千里山の地に新しく開設された学舎では、学理と実際との調和を説く「学の実化^{じっけ}」のスローガンのもと、新たな施策がつけつきと展開されていった。順太郎が提唱したこの「学の実化」は、今もなお関西大学が進むべき方向を指し示す羅針盤の役割を果たしている。関西大学にとつて「中興の祖」山岡順太郎が大きな精神的支柱のひとつになっているのは、こうした理由からである。

中橋徳五郎とともに大阪商船へ

順太郎の人生を振り返るとき、中橋徳五郎という同郷(金沢)の先輩の存在を抜きにすることはできない。

1885(明治18)年10月、茨城県収税属として役人生活をスタートさせた順太郎であつたが、7年後の1892(明治25)年、ある事件をきっかけに辞めてしまった。同年10月、順太郎は逓信省に入省するが、就職にあつた順太郎が頼りとしたのは中橋であつた。そのとき中橋は逓信省の財務課長として省内を切り回していた。こののち、順太郎は中橋の影に添うがごとく、歩みをとにもする。ちなみに1922(大正11)年、本学が悲願であつた大学昇格を果たしたときの文部大臣は中橋である。関西大学総理事・山岡順太郎、文部大臣・中橋徳五郎という組み合わせに、両者の少なからぬ縁を感じる。

1898(明治31)年6月、当時鉄道局長であつた中橋は、請われ大阪商船の社長となつた。このとき順太郎も逓信省を辞し、同年9月に文書課助役として大阪商船に入社する。それから1914(大正

3) 年まで16年にわたり、順太郎は中橋を助けて大阪商船隆盛の基礎を築いていく。

大阪商船における順太郎の功績は、内航部門を充実したことであった。当時、商船本社では外航部門が発展しており、内航は赤字となっていた。1907(明治40)年、内航部長となった順太郎は、別府航路の開発を行い、「紅丸」と「紫丸」という豪華船を就航させるとともに、自ら「世界の公園瀬戸内海」「天下の楽土別府温泉」といったキャッチフレーズを編み出して集客に努めた。その結果、会社の収益は増大し、順太郎の敏腕ぶりも社の内外に知れわたることになった。

欧米視察の移動経路

順太郎が欧米へ視察に行こうと決めたのは、内航部の仕事が一段落したのと、海外の海運や造船状況を視察し、見聞を広めたいと考えたからである。

ところで、鹿子木彦三郎著『山岡順太郎傳』では、海外視察についての記述はわずか2ページ余りしか割かれていない。すなわち、1913(大正2)年7月19日、大阪商船の監督であった太田丙子郎とともに大阪駅を出発し、敦賀でロシア義勇艦隊汽船ベンザ号に乗船、ウラジオストクからシベリア鉄道経由でヨーロッパをめざし、アメリカに渡ったのち、10月13日にワシントンで太田と別れ、ニューヨークからは水谷揆一を案内者にし、11月5日、横浜へ帰ってきた、とごく簡単に旅程を記すだけである。全行程4カ月ほどの世界一周旅行であるが、ヨーロッパやアメリカでの具体的な足取りはよく分からないというのが実情である。ちなみに、ニューヨークから順太郎のガイドを

務めた水谷は後年、1922(大正11)年9月に関西大学の教授となる⁽³⁾。招聘したのは、もちろん順太郎であった。

『山岡順太郎傳』からは詳細をつかむことが難しい旅程であるが、順太郎が旅先から家族に宛てて送った絵はがきの文面や記載された日付、残された消印などをたどれば、ヨーロッパとアメリカにおける順太郎の足どりが見えてくる⁽⁴⁾。絵はがきを消印、もしくは通信文の中に記述された日付をもとに整理したのが本稿の末尾に掲載した「山岡順太郎洋行絵はがき一覽表」である⁽⁵⁾。これをもとに順太郎の旅程を整理すると次のようになる(地名のあとの数字は「一覽表」の番号)。

8月6日	イギリス・ロンドン(1)
8月7日	イギリス・ニューキャッスル(1)
8月8日	イギリス・グラスゴー(2)
8月22日	イギリス・ロンドン(3)
8月25日	フランス・パリ(3)
9月8日	デンマーク・クリスチャニア(4)
9月10日	ドイツ・ベルリン(5)
9月11日	ドイツ・ベルリン(5)
9月14日	ドイツ・ベルリン(6)(7)
9月19日	オーストリア・トリイェスト(トリエステ)(8)(9)
9月21日	イタリア・ミラノ(10)
9月21日	スイス・ルセルン(ルツェルン)(10)
9月22日	スイス・ルセルン(ルツェルン)(11)
9月23日	スイス・ルセルン(ルツェルン)(13)
9月23日	スイス・チューリッヒ(12)(13)(14)(15)(16)

9月23日	スイス・バーゼル (17) (18) (19) (20) (21)
9月25日	イギリス・ロンドン (17)
9月28日	イギリス・ロンドン (22) (23) (24)
10月2日	イギリス・ロンドン (25)
10月3日	イギリス・ロンドン (26) (27) (28) (29) (30) (31) (32)
	(33) (34) (35) (36) (37)
10月4日	イギリス・リバプール (34)
10月5日	アイルランド・クイーンズタウン (コーヴ) (38)
10月8日	大西洋上・ルスタニア船中 (39) (40)
10月10日	アメリカ・ニューヨーク (41)
10月11日	アメリカ・ニューヨーク (41) (42)
10月12日	アメリカ・ニューヨーク (43) (44) (45)
10月12日	アメリカ・ワシントン (46) (47) (48) (49) (50) (51) (52)
10月13日	アメリカ・ワシントン (53) (54) (55) (56)
10月14日	アメリカ・ナイアガラ (57) (58) (59)
10月15日	アメリカ・シカゴ (60) (61) (62) (63) (64) (67)
10月18日	アメリカ・タコマ (65) (73)
10月19日	アメリカ・タコマ (65) (66) (67) (68) (69) (70) (71) (72)
	(73)
10月20日	アメリカ・シアトル (73) (74) (75) (76) (77)
10月21日	カナダ・バンクーバー (78) (79) (80) (81) (82)
10月22日	カナダ・ビクトリア (83) (84) (85) (86)

『山岡順太郎傳』と「絵はがき一覽表」の日付を総合して旅程をもう

一度まとめ直すと、7月19日に大阪を出発した順太郎は、敦賀からロシア義勇艦隊汽船ベンザ号でウラジオストクに渡り、シベリア鉄道經由でヨーロッパに入る。8月中をほぼイギリス（ロンドン、ニューヨーク、グラスゴーなど）で過ごし、8月下旬からフランス（パリ）、デンマーク（クリスチャニア）、ドイツ（ベルリン）、オーストリア（トリエステ）、イタリア（ミラノ）、スイス（ルツェルン、チューリッヒ、バーゼル）などを歴訪、欧州各地で見聞を広めた。9月25日に一旦イギリスにもどり、10月上旬、大西洋航路のルスタニア号でアメリカへ渡り（10月10日朝ニューヨーク着）、ニューヨークからワシントン、合間にナイアガラ瀑布を見物しながら西へ移動する。そして10月15日夜、シカゴをあとにして一気に大陸を横断し、同18日にタコマへ至り、シアトルを經由して21日、カナダのバンクーバーに到着。翌22日にビクトリアを発ち、エンプレス オブ インディア号で太平洋を渡って11月5日に帰国（横浜着）したという全行程が見えてくる。

家族に送った絵はがき

次に、洋行絵はがきと家族の関係を見てみよう。

順太郎は妻・イチとの間に三男三女をもうけた。

長男 倭	1890 (明治23)	年4月24日生まれ
長女 櫻	1891 (明治24)	年9月9日生まれ
二女 心	1894 (明治27)	年8月2日生まれ
三女 島	1898 (明治31)	年2月16日生まれ
二男 旭	1902 (明治35)	年3月26日生まれ
三男 敷	1906 (明治39)	年9月18日生まれ

子どもたちの名前をあわせると、江戸時代の国学者である本居宣長が詠んだ「敷島の大和心を人問わば 旭に匂う山桜花」となる。順太郎の気風の一端を示すエピソードである。

順太郎が誰に何通の絵はがきを送ったのかをまとめたのが次の表である（年齢は1913（大正2）年当時）。

名前	続柄	年齢	送付数	一覧表の番号																			
イチ (恵知子)	妻	45歳	17枚	83	43	1	46	10	53	12	57	17	60	25	65	26	74	38	78	41			
倭	長男	23歳	20枚	67	39	5	75	44	6	79	47	13	84	48	18	54	22	58	27	61	28	66	29
櫻	長女	22歳	不明																				
心(心子)	二女	19歳	15枚	49	7	7	55	14	62	19	68	23	69	30	80	31	85	32		42			
島(島子)	三女	15歳	16枚	45	2	8	50	8	56	15	63	20	70	31	71	33	76	34	81	40			
旭	二男 (11歳)		0枚																				
敷	三男	7歳	18枚	82	37	3	86	51	4	52	11	59	16	64	21	72	24	73	35	77	36		

不思議なのは、残された絵はがきの中に長女・櫻と二男・旭に宛てたものが見つかからないことである。

順太郎は子どもたちに、細やかな気配りをした愛情あふれる文面を書き綴っている。さらに9月14日（ベルリン）、9月23日（バーゼル、

チューリッヒ）、9月28日、10月3日（ともにロンドン）、10月12日（ニューヨーク、ワシントン）、10月14日（ナイアガラ）、10月15日（シカゴ）、10月19日（タコマ）、10月20日（シアトル）、10月21日（バンクーバー）、10月22日（ビクトリア）などは、同じ日に複数枚の異なる絵はがきを妻や子どもたちそれぞれに書き分けて送ってさえもいる。むしろ、旅の後半からは、絵はがきを送るときは、全員にしたためたと思えるほどである。こうした状況から推測すると、櫻と旭に一枚も絵はがきを送らなかったということは考えられない。

そこで、1913（大正2）年当時の子どもたちの状況を『山岡順太郎傳』に記載されている「家族関係」のページで再確認してみると次のようなことが分かった。

まず、長女の櫻であるが、彼女は1910（明治43）年4月12日に向田金一（『山岡順太郎傳』が刊行された1929（昭和4）年時点では海軍少将）と結婚している。筆まめな順太郎のことを考えると、櫻宛のはがきも当然したためたであろうことは想像に難くないが、その場合は直接、向田家の方へ送っていた可能性が高い。すでに他家へ嫁いでいたため、実家（山岡家）に絵はがきが残っていないのは、ある意味当然かもしれない。

もう一人の旭である。1902（明治35）年3月26日生まれの旭であるが、実は1904（明治37）年7月10日に府立病院で亡くなっている。わずか2歳の寿命であった。生きていれば11歳になっており、父からの便りに興味と好奇心を示したに違いないが、順太郎にとって届けたくても届けることのできない所にいるわが子だったのである。

家族それぞれに送った中の特徴的な絵はがき

絵はがきの中身を送った相手ごとに分析してみよう（通信文のあと
の数字は「一覽表」の番号を示す。また、変体仮名や地名などには適
宜ルビを補った）。

【妻・イチ（恵知子）】

妻宛の絵はがきは全部で17枚残っているが、その多くが旅程の報告
や目的地への安着を記したものである。

- 「昨夜ロンドンヲ發志今朝当地ニ到着致候 委変無事ニ候間御安神被
下度候 ニーウカツスル^ニル^テ 八月七日 山岡順太郎 十二日迄ル
ハ倫敦ニ戻る豫定 途中ベルファスト^ニル^テ氏家氏ト逢ふ筈」(1)



妻・イチに送った絵はがき
(No. 25・上：通信面、下：図柄面)

- 「只今当地着 市中を見物せり 湖畔の風景中々宜敷御座候 チュ
ウリツヒル於て 九月廿三日午後一時 山岡順太郎」(12)

また、自宅宛に送った旅の写真を関係者に届けるよう指示したはが
きもある。

- 「先達当地ル^テとりたる写真自分一人の分と三人の分と二枚づ、御送
申上候間 御入手相成度候 其時一枚づ、は金澤氏家栄太郎氏へ御
轉送相成度候 十月二日 ロンドン 山岡順太郎」(25)

1913（大正2）年時点で、順太郎は大阪商船の理事・内航部長
というポストにあるが、一方で大阪商業会議所の議員も務めており、
そうした社会的立場から、シカゴでは阿部領事の招きで晩餐を共にし
ている。そのことを示すはがきも妻に送っている。

- 「今夕ハ阿部領事の御招き^ニル^テ晩餐の饗応を受くる筈ニ御座候 シカ
ゴ 十月十五日 山岡順太郎」(60)

順太郎がイチに送ったはがきの文面は、子どもたちへのものと比べ
て、ある意味、淡々としているが、1890（明治23）年に結婚して
23年、すでに三男三女をもうけた夫婦の間では殊更に修飾した言葉は
必要なかったのかもしれない。

【長男・倭】

長男の倭はこのとき23歳なので立派な社会人であるが、どのような
仕事についていたかは不明である。「山岡順太郎傳」が発行された19

29（昭和4）年時点では、39歳の若さで大日本人造肥料会社及び大阪鉄道会社取締役、大阪製錬所取締役を務めている。慶應義塾大学の卒業で、早くからエリートコースを歩んでいたことは間違いなく、倭に宛てた順太郎のはがきも成人の男性に対する書き方、内容となっている。

順太郎は妻イチに対し、シカゴの阿部領事と晚餐を共にするのはがきを送っているが、これと同様、倭に対しても、ロンドンの杉村大使に招かれて日本食をご馳走になったことを書き送っている。父の交際関係を知らせる目的があったのだろう。

●「昨夜は当地の杉村大使招かれて日本食の御馳走^りなりました
ベルリン
伯林^ル於て 九月十四日 山岡順太郎」(6)



長男・倭に送った絵はがき
(No.22・上：通信面、下：図柄面)

順太郎が倭を一人前の社会人として扱っていることを示すのは、次のような文面からも推測できる。同行者の氏名を挙げ、今後の動向を具体的に記している。

●「昨夜太田君はワシントン一泊 今朝全(同)地ヨリ巴^バ奈^ナ馬^マ運^リ河^カ視^ス察^ス
尔赴^ルかる、古とと相成り候二付 自分は同君と分かれて今朝当地二
参^リり候 ^ニ紐^ニ育^クよりは村田省藏君と同行春^スる古と尔なり 即ち市俄^シ古^カ
迄は同君と道連尔相成候 又明朝は水谷君と市俄古^シルて出逢ふ古と
ニ打合致置候 ナイヤガラニ於て 十月十四日 山岡順太郎」(58)

順太郎は貧しい家に生まれ、苦勞して育ったが、1898（明治31）年、中橋徳五郎に従って大阪商船に入社してからは順調に出世した。生活も楽になったようで、洋行にあたっては、倭からみやげにアメリカで写真機を買ってきたてきてほしいとせがまれていたようである。ただ、9月28日ころに何らかの事態が起こり、アメリカへ行かずに帰国する可能性も高まったらしく、倭に対して次のような文面のはがきを送っている（しかし、そのあと順太郎はイギリスから渡米しているため、結果的に倭の願いは叶えられたらうと想像される）。息子のために、当時としては高価な買物の氣遣いをしている様子が窺える。

●「渡米致さず帰朝春^スる古と尔なれば兼而申越の写真器械はニユーヨークの知人尔依頼して買求め会社の船^ルて日本へ送り貰ふ事ニ可致候
九月廿八日 ロンドン 父」(22)

「二女・心（心子）」

二女の心は、順太郎が洋行した1913（大正2）年時点では19歳

だが、順太郎が帰国した翌1914（大正3）年1月6日に氏家長明と結婚する。氏家は順太郎と同郷の石川県出身で、のちに海軍中将となる。順太郎が妻に宛てた10月2日付のはがき(25)で「金澤氏家栄太郎氏へ御轉送相成度候」と写真の送付を指示している「氏家栄太郎氏」は長明の父親である⁽⁷⁾。

また、心に宛てた9月28日付ロンドン発のはがき(23)と、妻・イチ（恵知子）宛の10月3日付はがき(26)の文面にも氏家の名前が出てくる。倭のところでも記したが、9月末ごろ、洋行中の順太郎を取り巻く環境の中で何らかの事態が起こったようで、順太郎は急遽、帰国を決意するが、一週間も経たないうちにその問題は解決され、当初の予定どおりアメリカ、カナダをまわって帰国の途につくよう変更される。氏家長明も順太郎と相前後して帰国することになっており、当初は横浜で順太郎を迎える予定であったようだが、逆の見込みになることが記されている。

●「自分は十一月末ニ帰朝ノ豫定ナリシモ 急ニ帰朝スルコトナリ 此はがきが到着スル時分ハ早ヤ大阪ノ人カモ知レマセヌ 氏家君ガ自分ヲ横浜デ出迎スルトイッテ居リマシタガ アベコベニナル様ニナリマシタ 九月廿八日 ロンドン 山岡順太郎」(23)

●「十月廿二日ビクトリヤ発のエンプレス オブ インデヤル乗る古とニ豫約したから十一月五日ハ横濱ルつける 氏家君の帰朝とハ二日早い線也 ロンドン 十月三日 山岡順太郎」(26)

また、10月13日付のはがきでは、ニューヨークを出発する際、金原



二女・心に送った絵はがき
(No. 23・上：通信面、下：図柄面)

夫妻からお祝いの品を頂戴したため、このはがきが着き次第、礼状を出すように心に指示している。

●「古れはワシントンの記念塔也 高サ五五五尺 金原夫婦は紐育出立の際ル停車場迄見送下されました 御祝の品を頂戴したから此手紙がついたら直ぐ礼状を出しなさい 十月十三日 ワシントン 山岡順太郎」(55)

いずれにせよ、二女・心の結婚相手のことや知人からのお祝いのことなどを旅先から書き送るあたりに、嫁入りを控えた娘を気遣う父・順太郎の姿が浮かび上がってくる。

【二女・島（島子）】

順太郎とイチ夫婦は長男・倭をもうけたあと、子どもは櫻、心、島と女子ばかり三人が続いた。三女の島はこのとき15歳で、まだ学校に通っている年齢であった。順太郎が島に宛てて最初に送ったはがきにも学業のことが書かれている。

●「此夏はドーブル極まりましたか 此間ノ試験尔大優等の成績でもとらぬと折角休暇中尔養ひたる勇氣が無駄尔な里ま春ね グラスゴ― 八月八日夜 山岡順太郎」(2)

順太郎が家族に送ったはがきのうち、宛名が連名（心子と島子宛）になっているものが一枚だけある。イギリスで「サフラジエツト」と呼ばれた女性参政権運動者が街頭で機関誌を販売している様子が写っているはがきで、文面は次のとおりである。



二女・心と三女・島に送った絵はがき
(No. 31・上：通信面、下：図柄面)



二女・心に送った絵はがき
(No. 32・上：通信面、下：図柄面)

●「女権擴張運動員の機関雑誌を売る有様でありま春 十月三日 倫敦 尔て 山岡順太郎」(31)

そして、このはがきの写真面には「中々お楚ろしい顔をして居るね」と書き込んでいる。同日、心に対しても同じく馬車に乗ったサフラジエツトの絵はがき(32)を送っており、こちらの文面は「古の女の人相は餘りお楚ろしさう尔もありませんね ロンドン 十月三日 山岡順太郎」となっている(写真面の記述は「古れも女権論の運動者也」)。順太郎が訪英した1913(大正2)年前後、イギリスでは郵便ポストへの自家製爆弾投入(1911年)、閣僚の別宅や首相が観劇中であつた劇場への放火(1912年)、ダービーレース最中への投身・自殺行為(1913年)など、サフラジエツトたちの行動が過激化して

いた。二女の心と三女の島、ともに若い我が娘たちに対し、イギリスの先鋭的な活動をしている女性の姿を伝えようとしたのかもしれない。

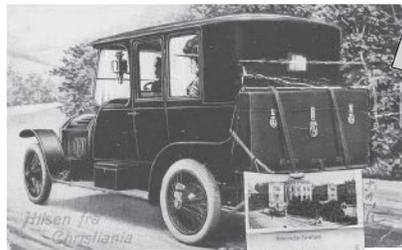
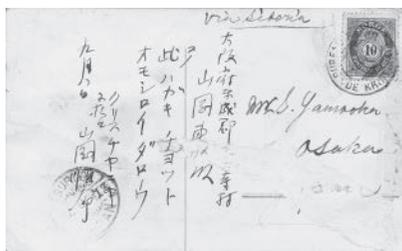
ちなみに、島は1919（大正8）年3月25日に岸田幸雄と結婚する。岸田は1921（大正10）年から1924（同13）年まで大阪海上保険会社神戸支店長の任にあった。特に、1923（大正12）年と1924（同13）年の2年間は関西大学で経済政策の授業を受け持ち、週に一回は千里山へ通っていたという⁽⁹⁾。

『山岡順太郎傳』が発行された1929（昭和4）年時点で、岸田は日本電力株式会社の営業部長になっている。順太郎は1919（大正8）年12月15日に日本電力の取締役社長に就任していることから、順太郎が岸田を日本電力に呼び寄せたことが想像される。岸田は島との結婚後、住吉区天王寺町（現阿倍野区松崎町）にあった順太郎邸の隣接家屋に住んでいたことも証言している。順太郎と岸田の関係は親密だったようである。なお、岸田

は後年、1947（昭和22）年4月12日から1954（昭和29）年11月5日まで兵庫県知事を務めた。

【三男・敷】

三男の敷は、順太郎が洋行した時は7歳であった。そのため、はがきの図柄は小学校低学年の



三男・敷に送った絵はがき
(No.4・上：通信面、
中・下：図柄面)



男子が好みそうなものを選んでいるし、文章の書き方も妻や長男・倭へのもとは明らかに異なっている。そのあたりの配慮が最もよく表れているのが、9月8日付デンマークのクリスチャニアから送ったはがきである。車体後部に旅行用の大型トランクを載せた乗用車が描かれている。この絵はがきの通信文は

●「此ハガキチヨットオモシロイダロウ クリスチャニヤル於て 九月八日 山岡順太郎」(4)

となっているが、絵が描かれている側のトランクの下あたりにも「古のいれものからながでるやら」と書き足されている。

実は、このトランクにはギミックが施されており、中から折りたたんだ観光写真が一繋がりになり出てくるようになっていた。現代風に言うなら「飛び出す絵本」である。

敷を中心に、家族全員が集まって、トランクの中から「飛び出す写

「真」を引つ張り出して楽しんでる光景が目には浮かぶようである。順太郎も、遠い異国の地でその情景を想像しながら投函したに違いない。息子思いの親心が窺える一葉である。

小学校低学年の児童が読めるよう、片仮名で書かれたはがきはもう一枚ある。

●「シンコ シマコト イッシヨニダサレタテガミミマシタ シバラクノアイダニジヲカクノガヨホドジョウツニナリマシタ子 オトウサンハライゲツハカヘルコトニナリマシタ 九月廿八日 チチヨリ」
(24)

敷の書く字が上達したことを褒めている。ちなみに、順太郎が家族に送った手紙は、ほとんどすべてが「山岡順太郎」というフルネームの署名で終わっており、「父」と表記されたのは9月28日付の倭宛て(22)と、敷宛てのこの絵はがきだけである。「チチヨリ」という締めくくりの言葉には、ほかのはがきとは違う想いがこもっているように感じられる。

同じく9月22日付のはがきには、景色の良いゴツタルド峠の橋梁を重連の蒸気機関車が客車列車を牽いて渡っていくところが描かれている。これも少年が好みそうな図柄である。

●「古れゴザートを通過する汽車進行の光景也 大正二年九月廿二日 瑞西ルセルン湖畔 山岡順太郎」(10)

鉄道や自動車といった男の子が喜ぶ図柄の絵はがきは、ほかにもあ

る。

●「ろん当んの巡查とろん当んの電車を古らんなさい 十月三日 ロンドン 山岡順太郎」(36)

●「古れ者市内赤十字の車也 路上尔けがでも志た人あれ者春ぐやつて来る ロンドン 十月三日 山岡順太郎」(37)

No.36の絵はがきは、交通整理をする巡查とロンドンの路面電車が写ったもので、馬ならぬヤギが牽く小型の乗物に幼児二人が乗っている様子が微笑ましい。No.37は、赤十字のマークが描かれたロンドン市の警察救急車である。これらはいずれも同じ日に敷に宛てて投函されている。1866(慶応2)年生まれの順太郎は、この年47歳になり、40歳で授かった末っ子の敷はことのほか可愛かったのかもしれない。

洋行絵はがきから見えてくるもの

順太郎が家族に送った86枚(実際に投函されたのは84枚)の絵はがきからは次のようなことが見えてくる。

① 鹿子木彦三郎著『山岡順太郎傳』ではあまりページを割かれていない欧米視察の旅程が詳細に分かること。特に、ヨーロッパやアメリカでの足取りが克明に検証できる点は大きな特徴である。順太郎が何を見て、何に心を動かされたかが、通信文だけでなく、絵はがきの図柄などからも読み取ることができる。

② 妻と5人(長女の櫻も含む)の子どもたちに対する順太郎の愛情の深さが窺えること。妻や子どもたちの顔を思い浮かべながら、それぞれにあわせた通信文を書いている様子や、この子ならこの図柄、といったことを想定しながら絵はがきを求めたであ

うことが随所に感じられる。順太郎は妻や子どもに細やかな気配りをする愛情あふれる人物であった。

③ それとは逆に、順太郎から送られた手紙を後々まで大切に保存していることから、家族もまた順太郎に対して尊敬の念を抱いていたことが想像される。

④ 順太郎は、かなり筆まめな人物であったが、絵はがきも好きだったと思われる。現在、山岡家には86枚の「洋行絵はがき」以外に、国内の各地から投函された絵はがきも12枚残されている。現在と異なり、手軽に持ち運べるカメラがほとんど普及していなかった時代であったため、簡単な説明だけでその土地の様子を伝えるのに絵はがきは最適のツールであった。自宅に送れば、家族が喜ぶとともに、後々自分も旅の様子を思い返すことができる。そうした利便性を踏まえて利用したのかもしれない。

山岡順太郎は、いくつもの企業の社長や役員だけでなく、大阪商業会議所の会頭も務め、いわば大阪財界のトップという公の顔を持っていた。しかし、これまで家庭における私人としての側面はほとんど紹介されてこなかった。本稿で見えてきたように、山岡家に残された86枚の洋行絵はがきからは、家族に対してやさしい夫、父親であった順太郎の家庭人としての素直な顔を垣間見ることができるとともに、これらの絵はがきは、旅先からの近況報告であるとともに、異国から家族に送った愛情あふれるメッセージ便であったと言えるだろう。旅の思い出以上のものがそこには込められているのである。

注

(1) 熊 博毅「平成二十一年度年史企画展「学の実化」の時代―山岡順太郎・倭父子展―をふりかえって」『関西大学年史紀要第19号』（平成22年3月31日発行）

(2) 山岡順太郎の生涯の業績を著したものとしては、順太郎の没後一年を期して発行された鹿子木彦三郎著『山岡順太郎傳』（昭和4年11月26日発行）が一番に挙げられる。また、藪田香融「山岡順太郎」『関西大学百年史 人物編』（昭和61年11月4日発行）も簡潔にまとめられている。

(3) 横田健一「水谷揆一」『関西大学百年史 人物編』（昭和61年11月4日発行）

(4) 現在、山岡家に伝わっている全部で86枚の洋行絵はがきのうち、通信文を書いたものの、投函しないまま持ち帰ったものが二枚含まれている。一枚は、9月19日の日付が記された三女・島宛のもの（「絵はがき一覽表」No.8）。もう一枚は、通信面に宛名も何も記されず、絵はがき面に「これはトリエストの市廳であります」とのみ説明文が添えられているものである（同No.9）。ともにトリエステの絵はがきであることから、通信文はしたためたものの、何らかの事情で投函できないままになったと思われる。今のようには、簡単には写真が撮れなかった時代なので、現地の様子を家族に伝えるため、廃棄せずに持ち帰ったのかもしれない。

(5) 順太郎は通信文の中で、例えば「し」を「志」、「に」を「尔」、「こ」を「古」、「り」を「里」、「す」を「春」というように変体仮名を用いて表記している。「一覽表」では、初出の文字については読み方を補った。

(6) 順太郎から家族への絵はがきの宛名には、妻・二女・三女いずれにも「子」という文字が使われている。しかし、本稿で名前を示すときは『山岡順太郎傳』の表記に従った。戸籍上の名前とは別に、順太郎は日常的に「子」をつけて呼び習わしていたようである。そのことは三男・敷宛に出した「一覽表」No.24の文面「シンコ シマコ ト イツシヨニダサレタテガミマシタ……」からも窺える。

(7) 国立国会図書館には氏家栄太郎（1863-1939）が著わした『汲古雜録』が所蔵されている。書誌データによると、出版年は1940（昭和15）年、出版者は氏家長明となっている。栄太郎が書き残した原稿を、栄太郎の没後1年を期して長明が刊行したものである。

(8) ニューヨーク在住の金原夫妻が順太郎とどういふ関係にあったのかは不明であるが、10月10日にニューヨークに到着した順太郎が翌11日には夫妻と会っており（「一覽表」No.41）、心に対して祝いの品を贈っていることから、家族ぐるみつきあいがあったと想像される。

(9) 『関西大学百年史』編纂途中の1983（昭和58）年11月16日、年史編纂室は大阪市北区の堂島ビル内にあった清交社で岸田幸雄氏（当時90歳）にインタビューを行った（聞き手 年史編纂室・篠原茂一、熊博毅）。関西大学で講師を務めていたという岸田氏自身の経歴をはじめ、文化や教育に対する山岡順太郎の考え方、関西大学が千里山へ移転してくる経緯など、興味深い証言を得ることができた。ちなみに、岸田氏の記憶によると、順太郎は「学の実化」の「実化」（関西大学学歌では「じつけ」と歌唱）を「じっくわ」と発音していたという。

付記

山岡家の現当主である山岡洋氏（順太郎のひ孫）は、本稿を『関西大学年史紀要』に掲載することを快く了解してくださいました。ここに記して感謝の意を表します。

（くま ひろき・関西大学年史編纂室学芸員）

山岡順太郎洋行絵はがき一覧表

7	6	5	4	3	2	1	番号	
9月14日	9月14日	9月11日	9月8日	8月23日	8月8日	8月7日	日付	
心子	倭	倭	敷	敷	鳥子	恵知子	宛名	
ドイツ	ドイツ	ドイツ	デンマーク	イギリス	イギリス	イギリス	発信国	
ベルリン	ベルリン	ベルリン	クリスチャニア	ロンドン	グラスゴー	ニューキャッスル	発信地	
不明	敦賀	敦賀	敦賀	大阪	大阪	なし	日本受入地	
9月28日	9月28日	9月24日	9月不明日	9月8日	9月3日	なし	受入消印日	
昨日は海軍博物館、下水設備、市役所、国立の運動場、市街膨張の様を見ました 伯林 九月十四日 山岡順太郎	昨夜は当地の杉村大使招かれて日本食の御馳走なりました 伯林於て九月十四日 山岡順太郎	昨夜は無事来着 ホテルプリストルニ投宿ス ホテルノ前通ハ伯林(ベルリン)第一ノ市街ニ有之候 九月十一日 山岡順太郎	此ハガキチヨットオモシロイダロウクリスチャニヤル於て 九月八日 山岡順太郎	此ハガキルテ倫敦の軍人を見なさい昨夜当地ニ来る 廿五日ニハ巴里(パリ)ニ赴ク予定 九月十三日頃ハ伯林ニ行ク 初メの日割とハ少シク変更せり ろんどん 八月廿三日 山岡順太郎	此はがきルテ倫敦の軍人を見なさい昨夜当地ニ来る 廿五日ニハ巴里(パリ)ニ赴ク予定 九月十三日頃ハ伯林ニ行ク 初メの日割とハ少シク変更せり ろんどん 八月廿三日 山岡順太郎	此夏はドーブルコトル極まりましたか此間ノ試験中大優等の成績でもとらぬと折角休暇中養ひたる勇氣が無駄ルナリ(り)ま春(す)ね グラスゴー八月八日夜 山岡順太郎	昨夜ロンドンヲ發志(し)今朝当地ニ到着致候 委変無事ニ候間御安神被下度候 ニーウカツスル(に)て 八月七日 山岡順太郎 十二日迄ハ倫敦(ロンドン)ニ戻る豫定 途中ベルファストルテ氏家氏ト逢ふ筈	通信文
ドイツ皇帝一家	ウィルヘルム二世皇帝と王子たち	皇帝	クリスチャニアの車(トランクのギミック)	サーベルを掲げる騎馬軍人と門衛	大砲の前でバグパイプを吹く人	世界一大きな鉄道交差ニユーキャッスル駅	図柄	
なし	なし	なし	古(こ)のいれものからながでるやら	なし	なし	なし	図柄面通信文	

番号	日付	宛名	発信国	発信地	日本受入地	受入消印日	通信文	図柄	図柄面通信文
15	9月23日	島子	スイス	チューリッヒ	大阪	10月9日	瑞西チュウウリッヒル於て 頗る心持がよいで春(す) 九月廿三日	トホール	なし
14	9月23日	心子	スイス	チューリッヒ	大阪	10月9日	此二三日は欧州第一の風景のよい處ばかりを通過春(す)るので春(す)から 九月廿三日 山岡順太郎	チューリッヒのトインハレコンサー トホール	なし
13	9月23日	倭	スイス	チューリッヒ	大阪	10月9日	古れは当地停車場を出たる春(す)ぐ の處の光景也 チュウウリッヒル於て 一時 山岡順太郎	チューリッヒ駅前 広場の噴水	なし
12	9月23日	恵知子	スイス	チューリッヒ	大阪	10月9日	本日ルセルンを発志(し) 当地ル立寄 今夜はバゼル一泊の見込有之候 チュウウリッヒル於て 九月廿三日午後 一時 山岡順太郎	チューリッヒ湖と レッドキャッスル	なし
11	9月22日	敷	スイス	ルセルン	敦賀	10月8日	只今当地着 市中を見物せり 湖畔の 風景中々宜敷御座候 チュウウリッヒル於 て 九月廿三日午後一時 山岡順太郎	チュウウリッヒの町 とアルプス山脈	なし
10	9月21日	恵知子	スイス (ルツェルン)	ルセルン (ルツェルン)	大阪	10月9日	古れゴザートを通過春(す)る 汽車進行 の光景也 大正二年九月廿二日 瑞西 (スイス) ルセルン湖畔 山岡順太郎	ゴツタルド峠の橋 梁を渡る蒸気機関 車牽引列車	なし
9	9月19日か	なし	オーストリア	トリイスト	なし (投函せず)	なし	本日ミランを發して瑞西ル来る 午後 四時五十分ゴザートの大隧道入り十 四分間アルツェルンを出でたり 古(こ) れアルプス連山の分水嶺なり 夕刻当 地ル安着春(す) ルセルンル於て 九 月廿一日 山岡順太郎	登山鉄道 トリイスト市庁舎	これはトリイスト の市廳であります なし
8	9月19日	島子	オーストリア	トリイスト	なし (投函せず)	なし	今日当地ル立寄申候 トリイストル於 て 九月十九日 山岡順太郎	トリイステのGast Vierホテル	此ホテルは自分等 が休息且ツ食事ニ 立寄たる当古(こ)と ころ也 此山の 上を電車が上りま す

番号	日付	宛名	発信国	発信地	日本受入地	受入消印日	通信文	図柄	図柄面通信文
21	9月23日	敷	スイス	バーゼル	大阪	10月9日	古れ者(は) 当地の古い建物で 今御役所ニなつて居る 九月廿三日バセル於て 山岡順太郎	バーゼル市役所	此赤いのは十六世紀の建築ルて此辺を通過すると一寸目尔つきます
20	9月23日	島子	スイス	バーゼル	大阪	10月9日	当地は来因(ライン) 河の兩岸ル跨る都會で工場のある割ルは中々き連(れ)いな当古(と)ころで春(す) バーゼルニ於て 九月廿三日 山岡順太郎 此次繪葉書を出春(す)のは倫敦で春(す)	バーゼル市街とライン川	なし
19	9月23日	心子	スイス	バーゼル	大阪	10月9日	今夜は当地ビクトリアホテルニ投宿しました バーゼル於て 九月廿三日 山岡順太郎	バーゼルのスパレンゲート	十五世紀ル於ける建築ルて此地ルて有名なるスパレンゲートなり
18	9月23日	倭	スイス	バーゼル	大阪	10月9日	欧大陸で繪葉書を出春(す)のは古れでおしまひ 若し倫敦ル直行春(す)るのが疲勞春(す)る様なら途中のロンで泊りまた出春(す)かも知連ませぬ バーゼルニ於て 九月廿三日 山岡順太郎	バーゼルのミュンスター大聖堂	古れ者(は) ライン河ル沿ふた高丘の上ルある御てらです 後方ニ立つて遠望すると中々景色がよろしい
17	9月23日	恵知子	スイス	バーゼル	大阪	10月9日	本日当地ル安着春(す) 明後廿五日の朝ルは倫敦の人ルなりま春(す) 九月廿三日 山岡順太郎	ライン川に架かるバーゼルの中央橋	市中には古んな橋が三ツあり 古れが中央橋です 此河がライン河です
16	9月23日	敷	スイス	チューリッヒ	大阪	10月9日	イマゴロハ ヨホドカラダモツヨクナリ ユクワイ(愉快) ニアソビ ユクワイニベンキョウシテオルコトオモフガ イカガニヤ チュウリッヒニテ九月廿三日 山岡順太郎 廿五日ニハロンドンニツキマス	チューリッヒのツヴィングリ記念碑	なし

27	26	25	24	23	22	番号
10月3日	10月3日	10月2日	9月28日	9月28日	9月28日	日付
倭	恵知子	恵知子	敷	心子	倭	宛名
イギリス	イギリス	イギリス	イギリス	イギリス	イギリス	発信国
ロンドン	ロンドン	ロンドン	ロンドン	ロンドン	ロンドン	発信地
敦賀	敦賀	敦賀	敦賀	敦賀	敦賀	日本受入地
10月17日	10月17日	10月17日	10月19日	10月9日	10月13日	受入消印日
猶太(ユダヤ)人の日曜日ニ於ける市場の光景也 十月三日 ロンドンル於て 山岡順太郎	十月廿二日ビクトリア登のエンプレスオブ インデヤル乗る古とニ豫約したから十一月五日ルハ横濱ルつける 氏家君の帰朝とハ二日早い線也 ロンドン 十月三日 山岡順太郎	先達当地ルでとりたる写真自分一人の分と三人の分と二枚づ、御送申上候間御入手相成度候 其内一枚づ、は金澤氏家栄太郎氏へ御轉送相成度候 十月二日 ロンドン 山岡順太郎	シニコ シマコト イツシヨニダサレタテガミマシタ シバラクノアイダニジヲカクノガヨホドジョウツニナリマシタ子(ね) オトウサンハライゲツハカヘルコトニナリマシタ 九月廿八日 チチヨリ	自分は十一月末ニ帰朝ノ豫定ナリシモ急ニ帰朝スルコトニナリ 此はがきガ到着スル時分ハ早ヤ大阪ノ人カモ知レマセヌ 氏家君ガ自分ヲ横濱デ出迎スルトイッテ居リマシタガ アベコベニナル様ニナリマシタ 九月廿八日 ロンドン 山岡順太郎	渡米致さず帰朝春(す)る古とルなれば兼而申越の写真器械はニューヨークの知人ル依頼して買求め會社の船ルて日本へ送り貰ふ事ニ可致候 九月廿八日 ロンドン 父	通信文
日曜の朝のスクラター・ストーリー	ロンドン塔の番兵	ロンドンの古い家並み	ロンドンのハイド・パーク・コーナー	ロンドンのマンシヨンハウス(市長官邸)	ロンドンのテート・ギャラリー	図柄
なし	古れは倫敦塔の番兵也 服装ハ昔の俣のものをきてをる	只今の處ルてハ十一月五日横濱着と可相成候	なし	なし	なし	図柄面通信文

37	36	35	34	33	32	31	30	29	28	番号		
10月3日	日付											
敷	敷	敷	島子	島子	心子	島子 心子・	心子	倭	倭	宛名		
イギリス	発信国											
ロンドン	発信地											
敦賀	敦賀	敦賀	敦賀	敦賀	敦賀	大阪	敦賀	敦賀	敦賀	日本受入地		
10月17日	10月17日	10月17日	10月17日	10月17日	10月17日	10月18日	10月17日	10月17日	10月17日	受入消印日		
順太郎	山岡順太郎	通信文										
救急車	面電車	図柄										
なし	図柄面通信文											
古れ者市内赤十字の車也 路上ルけが でも志た人あれ者(ば)春(す)ぐや つて来る ロンドン 十月三日 山岡 順太郎	今日は丑島より手紙が来ました■子も 達者で結構で春(す) 今でハよほど大 きくなったで志(し) よう ロンドン 十月三日 山岡順太郎	郵便集配人	古れは見た当ほり									
古れは肉市場内ルで働けるポーター也 ロンドン 十月三日 山岡順太郎	これはメッセンジャ ボーイ也 此門は ヴ井クトリア女皇 の記念アーチです 中々お楚(そ)ろし い顔をして居るね	スミスフィールド 市場のポーター	なし									
女権擴張運動員の機関雑誌を賣る有様 でありま春(す) 十月三日 倫敦ルて 山岡順太郎	婦人参政権の雑誌 を賣る女性	馬車に乗った婦人 参政権論者	古れも女権論の運 動者也									
古の女の人相は餘りお楚(そ)ろし さう尔もありませぬ ロンドン 十月 三日 山岡順太郎	道ばたの焼芋売り	新聞売りの少年	古れは路傍の焼芋 屋也 薩摩芋では ない楚(そ)									
おもてニ賣つて居る焼芋うまさうだ 「冬ニならぬ賣つて居らぬ」 十月三日 ロンドン 山岡順太郎	街頭の靴磨き	交通整理をする巡 査とロンドンの路 面電車	なし									
明日は倫敦を去り リバプールにより ルスタニヤルて紐育(ニューヨーク)ニ行 く 十月三日 ろんどん 山岡順太郎	古れは見た当(と)ほり靴磨也 十月 三日 ろん当(ど)ん 山岡順太郎	なし	なし									

番号	日付	宛名	発信国	発信地	日本受入地	受入消印日	通信文	図柄	図柄面通信文
45	10月12日	島子	アメリカ	ニューヨーク	大阪	11月6日	今朝当地ニ入港 豫定より少シク後れたる線ニ御座候 明日はワシントンニ赴く筈ニ有之候 十月十一日 紐育ル於て 山岡順太郎	ニューヨークのブルックリン橋から見たワールワースビルとミニニシパルビル	なし
44	10月12日	倭	アメリカ	ニューヨーク	大阪	11月6日	水谷揆一君同行帰朝の事致志ました十月十二日 紐育ル於て 山岡順太郎	ニューヨークのタイムズビル	なし
43	10月12日	恵知子	アメリカ	ニューヨーク	大阪	11月6日	イヨイヨベイコクニマイリマシタ コノテガミノツクコロハオトウサンモニホンヘツクデショウ 紐育ニ於て 十月十二日 山岡順太郎	ニューヨークのタイムズビル	なし
42	10月11日	心子	アメリカ	ニューヨーク	大阪	11月6日	当地ル於て金原御夫婦ニ御目ニ懸り申候 此地よりワシントンル行き 同地ルては太田氏と分るる古とル極メ申候 太田氏ハ巴奈馬(バナマ) 運河視察の必要ある故ニ有之候 同氏の帰朝ハ小生より十日位後れる事ニ御座候 十月十一日 ニューヨーク 山岡順太郎	ニューヨークのブルックリン橋から見たワールワースビルとミニニシパルビル	なし
41	10月11日	恵知子	アメリカ	ニューヨーク	大阪	11月6日	昨朝当地ニ入港 豫定より少シク後れたる線ニ御座候 明日はワシントンニ赴く筈ニ有之候 十月十一日 紐育ル於て 山岡順太郎	ニューヨークのブルックリン橋から見たワールワースビルとミニニシパルビル	なし
40	10月8日	島子		ルスタニヤ船中	大阪	11月6日	此はがきのつく時分ル自分も日本ニ帰る事出来可申 發て紐育 ルスタニヤ船中 十月八日 山岡順太郎	リバプールの到着する CUNARDE LINEの客船(ナンバー38と同じ絵はがき)	なし
39	10月8日	倭		ルスタニヤ船中	大阪	11月6日	大西洋波静ル明日は紐育の人となるを得 十月八日 山岡順太郎	リバプールの到着する CUNARDE LINEの客船	なし
38	10月5日	恵知子	アイルランド	クインスタウン	敦賀	10月16日	只今当地ル寄港仕候 古れより紐育ニ行く都合ル御座候 クインスタウンル於て 十月五日 山岡順太郎	リバプールの到着する CUNARDE LINEの客船	なし

番号	日付	宛名	発信国	発信地	日本受入地	受入消印日	通信文	図柄	図柄面通信文
54	10月13日	倭	アメリカ	マウントバーノン	大阪	11月6日	只今ワシントンの旧居宅を訪ひ申候 マウントバーノン於て 十月十三日 (午) 前十一時半 山岡順太郎	ワシントンの墓 (ナンバー50の絵 はがきの類似版)	なし
53	10月13日	恵知子	アメリカ	マウントバーノン	大阪	11月6日	米国旅行記念ノ一也 十月十三日 午 前十一時半 山岡順太郎	マウントバーノン	なし
52	10月12日	敷	アメリカ	ワシントン	大阪	11月6日	ワシントン市ル遊ひたる記念也 十月 十二日 山岡順太郎	ホワイトハウス	古れは有名なるホ ワイトハウス也
51	10月12日	敷	アメリカ	ワシントン	大阪	11月6日	ワシントン市ル遊ひ志記念の一也 十 月十二日 山岡順太郎	ワシントンのニュー ウイラードホテル	古れはニューウ井 ラードと称するホ テル也 本日は此 ホテルル投宿致候
50	10月12日	島子	アメリカ	ワシントン	大阪	11月6日	数十年前より其名を聞き志ワシントン ルハ今日はじめて足を入れ申候 紐育 より汽車五時間半 ワシントン 十月 十二日午後三時 山岡順太郎	ワシントンの墓	古れ者ワシント ンの墓
49	10月12日	心子	アメリカ	ワシントン	大阪	11月6日	物ハ明日と致候 ワシントン 十月十 二日 山岡順太郎	米国議会議事堂	古れは議事堂也
48	10月12日	倭	アメリカ	ワシントン	大阪	11月6日	当地ハ紐育の盛大なる商業地なるニ比 してハよほどおくゆかしき当古(とこ) ろ有之候 午後ハホテルニ休み市中見 物ハ明日と致候 ワシントン 十月十 二日 山岡順太郎	マウントバーノンの マンシヨン	古れは往時ワシ ントンの住みたる居 宅也
47	10月12日	倭	アメリカ	ワシントン	大阪	11月6日	華盛頓ル遊ひたる記念として此はがき を送る ワシントン 十月十二日 山 岡順太郎	ワシントンのユニオ ン新駅	古れはユニオン停 車場也
46	10月12日	恵知子	アメリカ	ワシントン	大阪	11月6日	ワシントン市ル遊ひたる記念の一とし て此はがきを送る 十月十二日 山岡 順太郎	ワシントンのアメ リカ合衆国財務省 から見たペンシル バニア通り	古れも市中の光景 也

番号	日付	宛名	発信国	発信地	日本受入地	受入消印日	通信文	図柄	図柄面通信文
58	10月14日	倭	アメリカ	ナイアガラ	大阪	11月6日	十月十三日 ワシントン 山岡順太郎 十月十四日 山岡順太郎	ワシントン記念塔	古れはワシントンの記念塔也 高サ五五尺 金原夫婦は紐育出立の際尔停車場を見送下されました 御祝の品を頂戴したから此手紙がついたら直ぐ礼状を出しなさい 十月十三日 ワシントン 山岡順太郎
57	10月14日	恵知子	アメリカ	ナイアガラ	大阪	11月6日	昨夜夜行瀛車ルて華盛頓を発し今朝当地ル着 ナイヤガラ瀑布を觀たり 風光甚々雄大有之候 ナイヤガラ於て 十月十四日 山岡順太郎	ゴア島から見たアメリカ滝	なし
56	10月13日	嶋子	アメリカ	ワシントン	大阪	11月6日	米國旅行記念の一也 十月十三日 ワシントン 山岡順太郎	アメリカ議会図書館	此れ者図書館也 今自分の居るホテルの窓から此館の正面が見えて居ります
55	10月13日	心子	アメリカ	ワシントン	大阪	11月6日			
							昨夜太田君はワシントン一泊 今朝全(同)地ヨリ巴奈馬運河視察ル赴かる、古とと相成り候二付 自分は同君と分かれて今朝当地ニ参り候 紐育よりは村田省蔵君と同行春(す)る古と尔なり 即ち市俄古迄は同君と道連尔相成候 又明朝は水谷君と市俄古ルて出逢ふ古とニ打合致置候 ナイヤガラニ於て 十月十四日 山岡順太郎	下から見たホースシュー滝	なし

番号	日付	宛名	発信国	発信地	日本受入地	受入消印日	通信文	図柄	図柄面通信文
67	10月19日	倭	アメリカ	タコマ	大阪	11月6日	本日当地出立夜行汽車ルテシカコニ赴く都合ニ御座候 明朝は全地ニ到着可致候 十月十四日 ナイヤガラ 山岡順太郎	下から見たアメリカ滝	なし
66	10月19日	倭	アメリカ	タコマ	大阪	11月6日	今夕ハ阿部領事の御招きルテ晚餐の饗応を受ける筈ニ御座候 シカゴ 十月十五日 山岡順太郎	牛肉処理場	なし
65	10月19日	恵知子	アメリカ	タコマ	大阪	11月6日	今夜十時十五分当地を發シタコマニ向ヒ申候 水谷揆一君同行せられ候 シカゴニ於て 十月十五日 山岡順太郎	シカゴのユニオンス トックヤード玄関	なし
64	10月15日	敷	アメリカ	シカゴ	大阪	11月6日	昨日はナイヤガラルテ水力電氣の發電所を見ました シカゴ 十月十五日 山岡順太郎	シカゴのミシガン 大通り	なし
63	10月15日	島子	アメリカ	シカゴ	大阪	11月6日	昨夜九時半当地ル着 タコマホテルニ投宿仕候 タコマニ於て 十月十九日 山岡順太郎	シカゴ大学	なし
62	10月15日	心子	アメリカ	シカゴ	大阪	11月6日	今夜十時十五分当地を發シタコマニ向ヒ申候 水谷揆一君同行せられ候 シカゴニ於て 十月十五日 山岡順太郎	シカゴのユニオンス トックヤード玄関	なし
61	10月15日	倭	アメリカ	シカゴ	大阪	11月6日	本日シカゴ市中を見物して後阿部領事の招宴ニ列志申候 シカゴニ於て 十月十五日 山岡順太郎	シカゴのミシガン 大通り	なし
60	10月15日	恵知子	アメリカ	シカゴ	大阪	11月6日	今夜十時十五分当地を發シタコマニ向ヒ申候 水谷揆一君同行せられ候 シカゴニ於て 十月十五日 山岡順太郎	シカゴのユニオンス トックヤード玄関	なし
59	10月14日	敷	アメリカ	ナイアガラ	大阪	11月6日	今夕ハ阿部領事の御招きルテ晚餐の饗応を受ける筈ニ御座候 シカゴ 十月十五日 山岡順太郎	牛肉処理場	なし
67	10月19日	倭	アメリカ	タコマ	大阪	11月6日	去る十五日午後十時十五分市俄古発三昼夜ルテ当地ニ着致候 ステーションニハオレット氏及駒田君出迎下され候 タコマニ於て 十月十九日 山岡順太郎	シカゴ 13番通り から北を見たパシ フィック大通り	古れ者タコマ市街 の光景也

76	75	74	73	72	71	70	69	68	番号
10月20日	10月20日	10月20日	10月19日	10月19日	10月19日	10月19日	10月19日	10月19日	日付
島子	倭	恵知子	敷	敷	島子	島子	心子	心子	宛名
アメリカ	アメリカ	アメリカ	アメリカ	アメリカ	アメリカ	アメリカ	アメリカ	アメリカ	発信国
シヤトル	シヤトル	シヤトル	タコマ	タコマ	タコマ	タコマ	タコマ	タコマ	発信地
大阪	大阪	大阪	大阪	大阪	大阪	大阪	大阪	大阪	日本受入地
11月6日	11月6日	11月6日	11月6日	11月6日	11月6日	11月6日	11月6日	11月6日	受入消印日
日 山岡順太郎	今夜十一時四十五分発の汽車来て晩香 十月廿日 山岡順太郎	山岡順太郎	昨夜当地着致候 商船會社の巴奈馬丸 入港致居候 今日市中見物の上当地 二泊明日ハシヤアトルニ赴き可申候 タコマニ於て 十月十九日 山岡順太 郎	当地高等学校の運動場也 五萬の人が 入る古と出来るとの話也 た古ま 十 月十九日 山岡順太郎	見事なるリングゴで志よう 十月十九日 タコマ 山岡順太郎	山岡順太郎	古れは昨夜も今夜も自分の宿泊志たる た古まホテル也 タコマ 十月十九日 山岡順太郎	古の山は た古ま富士と申志て居里ま 春(す)が今日は雲がかかりてよく見 えませぬ た古ま於て 十月十九日 山岡順太郎	シカゴよりは此汽車来て当地ニ参りま した タコマ 十月十九日 山岡順太 郎
田氏武田氏水谷氏 シヤトル 十月廿 日 山岡順太郎	今夜十一時四十五分発の汽車来て晩香 十月廿日 山岡順太郎	山岡順太郎	昨夜当地着致候 商船會社の巴奈馬丸 入港致居候 今日市中見物の上当地 二泊明日ハシヤアトルニ赴き可申候 タコマニ於て 十月十九日 山岡順太 郎	当地高等学校の運動場也 五萬の人が 入る古と出来るとの話也 た古ま 十 月十九日 山岡順太郎	見事なるリングゴで志よう 十月十九日 タコマ 山岡順太郎	山岡順太郎	古れは昨夜も今夜も自分の宿泊志たる た古まホテル也 タコマ 十月十九日 山岡順太郎	古の山は た古ま富士と申志て居里ま 春(す)が今日は雲がかかりてよく見 えませぬ た古ま於て 十月十九日 山岡順太郎	シカゴよりは此汽車来て当地ニ参りま した タコマ 十月十九日 山岡順太 郎
シヤトルのキャピ タルヒルの邸宅	シヤトルのキャピ タルヒルの邸宅	シヤトルのキャピ タルヒルの邸宅	シヤトルのキャピ タルヒルの邸宅	シヤトルのキャピ タルヒルの邸宅	シヤトルのキャピ タルヒルの邸宅	シヤトルのキャピ タルヒルの邸宅	シヤトルのキャピ タルヒルの邸宅	シヤトルのキャピ タルヒルの邸宅	シヤトルのキャピ タルヒルの邸宅
なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	図柄
なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	図柄面通信文

番号	日付	宛名	発信国	発信地	日本受入地	受入消印日	通信文	図柄	図柄面通信文
86	10月22日	敷	カナダ	ビクトリア	神戸三宮	11月不明日	此地より太平洋を横断シテ日本帰る 今後十数日の海上生活定メシタイクツ ナラント思居候 ビクトリア 十月廿 二日 山岡順太郎	ビクトリア イン ディアン・ウォー・ カヌー・レースのス タート	なし
85	10月22日	心子	カナダ	ビクトリア	神戸三宮	11月2日	本日此船ルテ晚香坡より当地ニ参りけ り 今夜は此船ルテ横濱へ直航春(す) る次第二御座候 ビクトリア 十月廿 二日 山岡順太郎	エンプレス オブ インディア号	なし
84	10月22日	倭	カナダ	ビクトリア	神戸三宮	11月6日	古れは当港の光景ニ有之候 十月廿二 日 ビクトリア 山岡順太郎	ビクトリア港	なし
83	10月22日	恵知子	カナダ	ビクトリア	神戸三宮	11月不明日	只今当地ニ安着仕候 十月廿二日 ビ クトリア 山岡順太郎	ビクトリアBCの 州政府ビル	なし
82	10月21日	敷	カナダ	バンクーバー	大阪	11月6日	当地最も繁華なる街路の角 晚香坡ル て 十月廿一日 山岡順太郎	Granvilleから見た Hastingsストリー トの東	なし
81	10月21日	島子	カナダ	バンクーバー	大阪	11月6日	今夜は此ホテル泊まる 十月廿一日 バンクーバー 山岡順太郎	バンクーバーのC.P. ホテル	なし
80	10月21日	心子	カナダ	バンクーバー	大阪	11月6日	順太郎 当地ル遊ひたる記念ノ為此はがきを送 る 十月廿一日 晚香坡ルテ 山岡 順太郎	バンクーバーのチャ イナタウン	なし
79	10月21日	倭	カナダ	バンクーバー	大阪	11月6日	晚香坡ニ遊ひたる記念ル此はがきを送 る 十月廿一日 晚香坡ルテ 山岡 順太郎	プリティッシュコロ ンビアのインディ アの酋長たち	なし
78	10月21日	恵知子	カナダ	バンクーバー	大阪	11月6日	今朝当地ニ着 晚香坡ホテルニ 投宿 春(す) 英領加奈陀(カナダ) バン クウバー 十月廿一日 山岡順太郎	バンクーバーのCarroll ストリートから西を 見たHastingストリ ート	なし
77	10月20日	敷	アメリカ	シヤトル	大阪	11月6日	古れはシヤトル市街の中心也 シヤト ル 十月廿日 山岡順太郎	シアトルのバイオニ アスクエア	なし